



# 2025年5月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月9日

上場会社名 三光合成株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7888 URL <https://www.sankogosei.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久住 アーメン  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 芹川 明 TEL 0763-52-7105  
半期報告書提出予定日 2025年1月14日 配当支払開始予定日 2025年2月3日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家、アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年5月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年6月1日～2024年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	45,777	0.3	2,953	44.7	2,646	33.8	1,927	44.7
2024年5月期中間期	45,924	19.2	2,041	24.2	1,977	5.0	1,331	1.0

(注) 包括利益 2025年5月期中間期 1,393百万円 (39.5%) 2024年5月期中間期 2,303百万円 (17.4%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期中間期	63.21	
2024年5月期中間期	43.68	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期中間期	76,926	31,561	40.3
2024年5月期	74,930	30,479	39.9

(参考) 自己資本 2025年5月期中間期 30,993百万円 2024年5月期 29,911百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期		10.00		10.00	20.00
2025年5月期		10.00			
2025年5月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年5月期の連結業績予想(2024年6月1日～2025年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	1.3	4,800	16.2	4,400	12.0	2,900	11.0	95.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年5月期中間期	30,688,569 株	2024年5月期	30,688,569 株
期末自己株式数	2025年5月期中間期	204,786 株	2024年5月期	204,786 株
期中平均株式数(中間期)	2025年5月期中間期	30,483,783 株	2024年5月期中間期	30,483,783 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(収益認識関係) .....	12

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化が進み、企業収益の改善や雇用環境の改善等により緩やかな景気回復基調にある一方で、不安定な国際情勢、原材料価格やエネルギー価格の高騰、長期金利の上昇、諸物価の上昇や為替相場の急激な変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは前連結会計年度に引き続き、付加価値の高い製品の受注と生産体制の整備を強化し、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。

これらの結果、売上高は45,777百万円（前年同期比0.3%減）、利益面におきましては、営業利益は2,953百万円（前年同期比44.7%増）、経常利益は2,646百万円（前年同期比33.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,927百万円（前年同期比44.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 日本

車両用内外装部品及び金型の増収により、売上高は14,874百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は2,124百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

## ② 欧州

金型は増収となりましたが、車両用内外装部品の減収により、売上高は6,018百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は198百万円（前年同期はセグメント損失120百万円）となりました。

## ③ アジア

情報・通信機器及び家電その他は増収となりましたが、車両用内外装部品及び金型の減収により、売上高は15,263百万円（前年同期比11.7%減）、セグメント利益は439百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

## ④ 北米

車両用内外装部品及び金型は増収となり、売上高は9,622百万円（前年同期比20.1%増）、セグメント利益は513百万円（前年同期比142.7%増）となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	
		売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
成形品	情報・通信機器	3,314	9.2
	車両	32,162	△2.8
	家電その他	3,215	8.3
成形品計		38,692	△1.0
金型		7,085	3.5
合計		45,777	△0.3

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態の変動状況

当中間連結会計期間末の資産合計は、76,926百万円（前連結会計年度末比1,996百万円増）となりました。これは、現金及び預金が898百万円及び有形固定資産が762百万円増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末の負債合計は、45,365百万円（前連結会計年度末比914百万円増）となりました。これは、支払手形及び買掛金が915百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が1,015百万円増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産合計は、31,561百万円（前連結会計年度末比1,082百万円増）となりました。これは、利益剰余金が1,622百万円増加し、為替換算調整勘定が531百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は10,857百万円となり、前連結会計年度末より898百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は3,709百万円（前年同期比108.1%増）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益2,588百万円、減価償却費2,076百万円、売上債権の増加1,195百万円、仕入債務の増加1,346百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,527百万円（前年同期比19.9%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2,490百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は173百万円（前年同期比1.7%減）となりました。これは主に長期借入金の借入れによる収入2,500百万円及び長期借入金の返済による支出1,325百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年7月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,958	10,857
受取手形	19	0
電子記録債権	1,126	1,421
売掛金	18,561	18,991
商品及び製品	2,061	1,874
仕掛品	4,340	4,348
原材料及び貯蔵品	1,956	2,034
その他	2,963	2,836
流動資産合計	40,987	42,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,457	11,092
機械装置及び運搬具(純額)	11,444	11,489
工具、器具及び備品(純額)	2,048	2,091
土地	6,599	6,542
建設仮勘定	557	1,654
有形固定資産合計	32,108	32,870
無形固定資産		
のれん	47	22
その他	460	439
無形固定資産合計	507	462
投資その他の資産		
投資有価証券	24	19
繰延税金資産	326	191
退職給付に係る資産	630	685
その他	345	330
投資その他の資産合計	1,327	1,227
固定資産合計	33,942	34,560
資産合計	74,930	76,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,851	9,766
電子記録債務	3,283	3,338
短期借入金	6,325	6,112
1年内返済予定の長期借入金	4,846	5,084
リース債務	1,789	1,657
未払法人税等	640	681
賞与引当金	161	184
役員賞与引当金	59	—
その他	7,075	6,185
流動負債合計	33,032	33,010
固定負債		
長期借入金	6,719	7,496
リース債務	3,491	3,903
繰延税金負債	272	107
役員退職慰労引当金	16	16
退職給付に係る負債	437	435
その他	480	393
固定負債合計	11,418	12,354
負債合計	44,450	45,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,008	4,008
資本剰余金	4,071	4,071
利益剰余金	18,433	20,055
自己株式	△43	△43
株主資本合計	26,470	28,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	△1
退職給付に係る調整累計額	447	442
為替換算調整勘定	2,991	2,459
その他の包括利益累計額合計	3,441	2,901
非支配株主持分	567	568
純資産合計	30,479	31,561
負債純資産合計	74,930	76,926

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
売上高	45,924	45,777
売上原価	39,392	38,113
売上総利益	6,531	7,664
販売費及び一般管理費	4,490	4,710
営業利益	2,041	2,953
営業外収益		
受取利息	34	31
受取配当金	0	1
為替差益	61	—
受取賃貸料	30	33
スクラップ売却益	38	28
受取補償金	20	39
助成金収入	6	41
受取保険金	2	34
その他	7	12
営業外収益合計	202	223
営業外費用		
支払利息	198	272
為替差損	—	199
デリバティブ評価損	25	19
その他	42	40
営業外費用合計	266	530
経常利益	1,977	2,646
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	1	—
国庫補助金	14	—
特別利益合計	17	0
特別損失		
固定資産除却損	44	24
固定資産売却損	21	2
特別退職金	33	30
固定資産圧縮損	14	—
関係会社整理損	1	—
特別損失合計	115	57
税金等調整前中間純利益	1,879	2,588
法人税等	510	641
中間純利益	1,368	1,947
非支配株主に帰属する中間純利益	37	20
親会社株主に帰属する中間純利益	1,331	1,927



## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
中間純利益	1,368	1,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△4
為替換算調整勘定	908	△544
退職給付に係る調整額	24	△4
その他の包括利益合計	934	△553
中間包括利益	2,303	1,393
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,243	1,386
非支配株主に係る中間包括利益	59	6

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,879	2,588
減価償却費	1,930	2,076
のれん償却額	20	22
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△55
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△38	△3
受取利息及び受取配当金	△35	△33
支払利息	198	272
有形固定資産売却損益 (△は益)	19	2
有形固定資産除却損	44	24
デリバティブ評価損益 (△は益)	25	19
特別退職金	33	30
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,063	△1,195
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△190	△82
その他資産の増減額 (△は増加)	△636	176
仕入債務の増減額 (△は減少)	△275	1,346
その他負債の増減額 (△は減少)	475	△585
その他	△4	3
小計	2,383	4,608
利息及び配当金の受取額	35	33
利息の支払額	△197	△268
特別退職金の支払額	△33	△30
法人税等の支払額	△404	△633
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,782	3,709
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	1	—
有形固定資産の取得による支出	△2,078	△2,490
有形固定資産の売却による収入	13	3
その他	△45	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,108	△2,527

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△192	△118
長期借入金の借入れによる収入	2,000	2,500
長期借入金の返済による支出	△1,125	△1,325
リース債務の返済による支出	△583	△918
配当金の支払額	△274	△304
非支配株主への配当金の支払額	△1	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176	△173
現金及び現金同等物に係る換算差額	278	△109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△225	898
現金及び現金同等物の期首残高	8,775	9,958
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,549	10,857

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 (注) 2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,319	6,306	17,287	8,010	45,924	—	45,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,942	—	191	0	2,135	△2,135	—
計	16,262	6,306	17,479	8,011	48,059	△2,135	45,924
セグメント利益又は損失(△)	1,930	△120	429	211	2,450	△409	2,041

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去△10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△399百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間（自 2024年6月1日 至 2024年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 (注) 2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,874	6,018	15,263	9,622	45,777	—	45,777
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,991	0	267	6	3,266	△3,266	—
計	17,865	6,018	15,530	9,629	49,044	△3,266	45,777
セグメント利益又は損失(△)	2,124	198	439	513	3,276	△322	2,953

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去22百万円及び各報告セグメントに配分して  
いない全社費用△345百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				計
	日本	欧州	アジア	北米	
成形品事業					
情報・通信機器	1,982	—	1,053	—	3,035
車両	7,934	5,406	12,072	7,661	33,074
家電その他	768	297	1,843	60	2,969
成形品事業計	10,685	5,703	14,969	7,721	39,079
金型事業	3,634	602	2,317	289	6,844
顧客との契約から生じる収益	14,319	6,306	17,287	8,010	45,924
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,319	6,306	17,287	8,010	45,924

当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				計
	日本	欧州	アジア	北米	
成形品事業					
情報・通信機器	1,968	—	1,346	—	3,314
車両	8,077	4,614	11,064	8,405	32,162
家電その他	720	47	2,342	103	3,215
成形品事業計	10,767	4,662	14,753	8,509	38,692
金型事業	4,106	1,356	509	1,113	7,085
顧客との契約から生じる収益	14,874	6,018	15,263	9,622	45,777
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,874	6,018	15,263	9,622	45,777